

# 令和元年度 自己評価の結果について

学校法人旭川カトリック学園 羽幌藤幼稚園

## 1. 本園の教育目標

キリスト教的な愛を基本とする宗教的な雰囲気の中で、幼児一人一人と向き合い、人格形成に最も大切な時期に、はっきりとした道徳観をもてるようにする。また、戸外遊びなどを通じ主体的の遊ぶ活動を意図的に取り入れ、幼児自身が持つ可能性を最大限に伸ばすことを基本にした保育計画を作成し保育を行う。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- \*カトリックの教育理念の理解に職員で取り組み、保育内容や指導のあり方についても職員間での話し合いを深め指導計画に反映させる。保育計画については保護者にも知らせ、共通の認識をもって保育にあたる。
- \*縦割り保育を実践する中で家庭的な園での生活を心がけ思いやりの心を育てる。また、年齢別保育では、年齢の発達に合った計画を行い、発達を考慮しながら進める。
- \*満3歳入園児に対して柔軟に対応し、初めての集団生活にスムーズに入れるよう一定期間の満3歳児クラスの配置や連絡ノートを活用し個別の対応に配慮する。
- \*園庭や園外保育を通して戸外遊びを充実させる。
- \*地域の資源や公共施設訪問などを行い、地域の環境を生かした保育の実践を心がける。また、老人施設訪問なども継続して取り組んでいく。
- \*支援を必要とする幼児に対して、職員を配置し、療育機関との連携を深め、保護者には園での様子を伝える連絡ノートを活用しながら一人一人に配慮した保育を行う。
- \*教師一人一人が幼児と向き合い、きめ細かい保育ができるよう、また保育チームとして情報を共有し、自己研鑽を心がけ資質の向上をはかる。
- \*小学校との相互の連携を深め、就学に向けてスムーズな移行を行う。
- \*保護者への情報提供を遅延なく行い、個人情報に留意しながらホームページやブログなどの充実を図る。
- \*卒園児を対象とした学童保育（のびのび）を継続し、子育て支援の機能を充実させる。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取り組み状況
1 教育目標・教育方針 建学の精神にあるキリスト教理念を理解している。 教育目標と教育方針を理解して保育に当たっている。	B	教育目標にあるキリスト教的愛を基本とする雰囲気作りにも努めるとともに、保育計画の中にも反映させて保育に当たってきた。ただ、定期的に月末や学期の始まる前に教職員全員で定期的に会議の場を設けるように今後は取り組んでいきたい。

<p>2 教育課程・指導計画</p> <p>幼稚園教育要領を理解し、教育目標に反映させながら保育計画を作成している。指導計画を反省、評価し改善している。指導計画は幼児の興味や関心、これからの生活などを考慮して作成している。</p> <p>指導計画は、保護者にも周知し、家庭との連携をもって取り組む。</p>	A	<p>行事などは子どもたちが主体的に取り組めるように、十分な時間を掛けることにより、少人数ではあっても成果は達成できたと思う。園での取り組みが家庭にあっても理解いただけるよう2週ごとの週案やホワイトボードで提示することにより、子どもたちが、期待感を持って登園し、先の見通しを持って活動できるよう心がけてきた。家庭においても園と連携して子どもたちの成長を願っていると感じた。</p>
<p>3 環境構成</p> <p>幼児の興味や関心、実態に即した環境を構成している。</p> <p>季節や周囲の自然を生かした環境を構成している。幼児の主体的な活動の合わせて適切に環境を再構成するようにしている。</p> <p>施設、設備を日常的に点検し安全を確保する。</p>	A	<p>幼児の興味関心を的確に捉え、環境構成を行うよう努力した。廊下に季節ごとの行事等の写真の掲示や季節ごとに子どもたちが作った作品をばら組壁面に展示するなど、季節を感じるよう工夫した。また、園庭遊びや保護者の協力の林の中での、園外保育等を行った。しかし、冬期間の戸外遊びは雪不足の問題もあり十分とはいえなかった。</p> <p>今年度、園舎耐震補強とホール・トイレ改修、断熱工事、各保育室の流し台設置などを行った。その期間仮園舎での保育となったが子どもたちは違う環境にもすぐ慣れ、楽しんで過ごすことが出来た。</p>
<p>4 宗教教育</p> <p>宗教的な環境を大切にしている。</p> <p>祈りを大切にし、神様を賛美し感謝する心が育つよう、また、人を思いやる心が育つよう心がけている。</p> <p>園児に対して宗教講話が定期的に行われている。</p> <p>「がまん・しんせつ・おいのり」を保育の中で生かしている。</p>	A	<p>朝のお祈り、食前後お祈り、帰りのお祈りといつもお祈りによって始まり、終わる幼稚園であるよう心がけた。お祈りに対しての保育者の意識的な言葉がけを行い、お祈りできるよう促した。</p> <p>聖堂でのお祈りの時間を大切にしているが、仮園舎での保育期間中行うことが出来なかった。園児に向けた宗教講話は紙芝居やポスターなどを使い伝えている。誕生会などの機会にも行った。年齢的に理解力が違うため工夫が必要であると感じた。今後も「がまん・しんせつ・おいのり」が子ども達に浸透していくよう指導していきたい。</p>

<p>5 保育の内容・方法・</p> <p>健康のための食育や生活習慣を育て、自分を大切に、他の人や社会の喜びを持たせる。</p> <p>友達と共感し、助け合い、協同でやり遂げる喜びを持たせる。特に弱い者や小さい者を大切にする。</p> <p>保護者、祖父母、地域等の、幼児を取り巻く人々の愛情に気づかせ、家族、高齢者とのふれあいを大切に、人々に出来ることを実践する。</p> <p>自然界の不思議に関心を持たせ、畏敬の念と、自然を大切にする心、探求し思考する喜びをもたせる。</p> <p>動植物との触れ合いを多くし、生命を大切にする心や感謝する心、豊かな心情を育てる。</p> <p>言葉を注意深く聞き、心を開いて話し、紙との対話である祈りのための沈黙や静けさを大切にする心を育てる。一人ひとりの個性を大切に自己表現を助け、美しいものにたいする感性や創造性を援助する。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>縦割り保育を実践する中で、思いやりや生活習慣の自立を心がけ保育を行う事が出来た。</p> <p>ジャガイモなどを使い調理する体験を行い食への関心が高まった。また、田植えから稲刈りまでの経過を見学し、収穫後には新米をいただき、みんなでクッキングをしたことで食への関心をさらに向上させることができた。ミニトマトの収穫や魚市場や漁船の見学、地引網、餅つきなど保護者や地域の方の協力を得て実施した。</p> <p>恒例となった老人施設への訪問は交流することに視点を置き利用者の方に大変喜ばれた。今後も継続して取り組んでいきたい。</p> <p>オタマジャクシやサンショウウオの採取、飼育、カブトムシの飼育など身近な生き物にふれあう機会を設けた。また、鮭の遡上見学など地域の資源を活用した取り組みを行った。</p> <p>警察署訪問での交通安全指導、消防署見学での訓練見学など地域の方の協力をいただきながら取り組んできた。年長児は警察の「ひまわりの種プロジェクト」に参加し種植え、そして大きく咲いたひまわりを見学と交通安全意識の向上につながった。羽幌町人権啓発活動ネットワーク協議会の皆さんと玄関前に花を植えた。</p> <p>年長児の羽小まつり参加、授業参観や給食体験など就学に向けて期待感が持てる取り組みになった。</p> <p>また、支援を必要とする幼児に対し、療育機関と連携し、個別の支援計画を作成し、保護者との連絡ノートに園での様子を画像とコメントで知らせ、きめ細かい支援を行った。</p> <p>満3歳児入園の幼児に対しても園に慣れるまで個別の対応を行い、連絡カードなどを使い保護者との信頼関係を築き、スムーズに園生活が送れるよう配慮した。また、幼児に合わせ、柔軟な対応を行い、職員全員で課題を話し合い取り組んだ。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

キリスト教理念や建学の精神は園長を交えた職員間での共通認識をより一層築けるよう、さらに取り組んでいかなければならないと感じる。

縦割り保育は継続する中で、異年齢での生活が元となり思いやりの心が育まれている。新入園児も年長年中児との関わりのなかで園生活に慣れていくことができた。今後入園の状況を把握し適切な対応ができるようにしていきたい。行事等においても早い時期から取り組み（マーチング・生活発表等）、全体がスムーズに流れるように配慮した。

園舎改修に伴い、運動会は総合体育館での開催になったが事前に体育館での練習を計画し当日備えたことは園児にとっても不安が少なくスムーズに行うことができた。

保護者の皆様にうみ遊び、運動会、お店屋さんごっこ、もちつきとご参加いただき、より一層家庭的な園の雰囲気作りとなった。保護者の皆様の協力を感謝している。

支援を必要とする幼児に対して、個別の対応をすると共に、保護者が安心して預けられるよう信頼関係を築いた。

保育計画や内容については、幼児の興味や関心を的確に捉え取り組むよう努力してきた。今年度も老人施設へ訪問し、子どもたちの歌や遊戯を見ていただいた。一緒に楽器を奏でるなど、高齢者の方にも喜んでもらい今後も継続していきたいと思う。幼小の連携については、羽小まつり参加、授業見学及び給食体験などに参加した。今後も幼小連携に努めていきたい。

無償化について、羽幌町の担当者を招き説明を行った。

ホームページなどの情報発信は入園募集時に更新している。今後もブログの発信と合わせ充実させるようにしたい。

学童あずかりも4年目を迎え、卒園児に限定はしているが、10名ほどの児童が利用している。今後も安心安全を心がけ、子どもたちが安らげるよう、保護者にあっては安心して預けることができるよう運営していきたい。

今後、共働きの家庭が多くなることが予想されるので、保護者からの声を大切にしながら、体制や園の方向性を考えていく必要があると思う。

#### 5. 財務状況

太陽A S G有限責任監査法人による監査を受け、適正に運営されていると認められている。また、法人本部の財務状況報告により法人内各幼稚園及び本園の財務状況は率的な運営にあっている。

## 保護者・関係者の意見欄

一人ひとりの園児に目を向け、それぞれのことを考えて、その日その時によって、様々なアプローチや対応をしていただけたことに感謝します。少人数だからということもありますが、何よりも、先生方の保育方針や優しさによるものだと思います。今後もぜひ続けて欲しいです。

今年度は、耐震工事のため仮園舎での保育期間があったりと環境の変化がある中で、その状況下での子ども達の様子をよく観察していただき、子どもの心境や起こりうる不安定さまで想像し配慮して保育していただいていたことを感じております。先生方のゆとりある対応、柔軟な関わりで親子共に安心して通うことが出来、とても質の良い保育をしていただき“先生方”が子どもにとって一番の環境となっていると思います。子どもに寄り添った園であること大変感謝致します。

園舎改修工事で先生方が大変な中子ども達に不安を与えないようにと、仮園舎の玄関を可愛く飾ったり、きっと使い勝手がいつもと違って不自由な思いをされていた中でも、ゆったりとしたふるまいで子ども達を安心の中で保育されていたことを感謝しています。

夏祭りは等できませんでしたが、沢山園外で楽しい体験をさせてもらって1年間楽しい思い出が出来ました。

幼児期にしかできない 貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

廊下の写真 楽しませてもらいました。

ケーキ作り、お仕事をされていたり 小さい子がいたりでお手伝いできない方もいますが、皆さん幼稚園に協力したい気持ちでいっぱいです。お手伝いを通して仲良くなれたお母さんもいました。これからも幼稚園と家庭と連携のとれた素敵な幼稚園で居てください。

親子共々育ててもらいました。ありがとうございました。

藤幼稚園の特色である愛を基本とするキリスト教の理念を、日々の生活の中で「がまん・しんせつ・おいのり」に取り組んでおり、祈りや園での行事等の中で垣間見ることが出来る。小さな子ども達が静かに祈る姿は園児だけでなく、家族にも影響を与えていると感じる。

縦割り保育の実践により、園内でも園児同士の助け合いの姿も見られる。核家族や兄弟の少ない環境の中でも幼稚園の中で家庭的な環境が作られていると思う。

在園児は、少ないが少ないからこそ出来る保育や職員と園児や保護者との接する時間や深さもよい環境となっていると思う。また地域との関わりも大切にしており、さまざまな団体や外部からの協力を積極的に受け入れている印象がある。今後も積極的に地域に出向く活動や関わりを持ってもらいたい。

## 保護者・関係者の意見欄

今年度は改築工事等もあり、園生活にも不安があったが、地域や職員、親の協力もあり、大きな混乱もなく過ごせたと思う。今後も新しい施設や環境を十分に生かした保育や自然環境が身近にある立地を生かしながら園外保育なども積極的に行ってほしい。

延長保育や学童保育等も親や地域の声を実践していることで、家庭だけでなく、地域としての子育て支援にも協力している。保護者にとっても安心して預けられていると思う。今後も園の特色を十分に生かした園運営と園児や家庭、地域とのつながりを大切にしながらの取り組みを続けて欲しいと願っている。

各評価項目の「評価」「取り組み状況」とともに妥当と考える。

運動会では、子ども達が一生懸命に競技に参加し、微笑ましかったです。種目に工夫がなされ、また保護者の協力体制もとても良かったと思います。

「クリスマス会」を参観させていただきました。子ども達が、多くのことを覚えて、表現する姿に毎年感心しています。活動を通して、身体機能も高まっていると感じました。

毎年、羽幌小学校の行事に参加いただき、大変ありがとうございます。本校の子ども達は、お客さんを迎えることで意欲化が図られ、より工夫を凝らした活動となっております。今後とも、幼少連携に対するご協力を宜しくお願いいたします。